(5) 産業系施設

ア 産業系施設

①サービス状況

本市には、長門温泉郷五名湯(長門湯本温泉、俵山温泉、湯免温泉、黄波戸温泉、油谷湾温泉)があり、このうち油谷地区を除く 3 つの地域に市営公衆浴場(温泉施設)があり、地域資源を活用した滞在・交流型の施設として、市民の憩いの場だけでなく、多くの観光客が訪れる観光拠点施設になっています。

一方、地域振興を目的とした農産品の加工販売や農村体験交流等の産業関連施設として、里山ステーション俵山、農村婦人の家、油谷生活改善センター等が各地区に設置されています。

また、主に農林水産業の従事者を対象とした集会施設として、水産多目的集会所、油谷河原農業研修所などがあります。

②建物状况

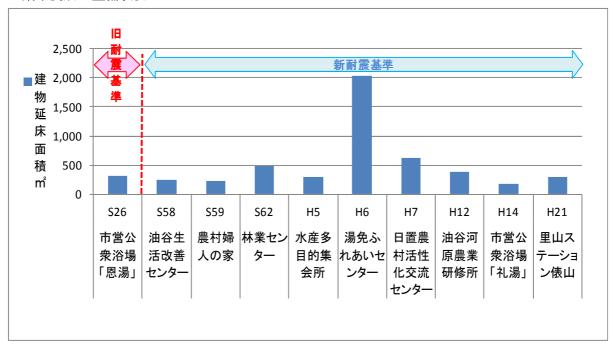
温泉施設では、湯本温泉の市営公衆浴場恩湯が昭和 26 年の建築で、耐震性もなく老朽化が著しいことから、現在改修について検討しています。一方、湯免ふれあいセンターが平成6年、日置農村活性化交流センターが平成7年、市営公衆浴場礼湯が平成14年であり、いずれも建築後10年~20年であることから現在のところ目立った老朽化は見られませんが、今後は設備関係をはじめ修繕費が増えることが予想されます。

また、産業関連施設では、里山ステーション俵山が建築後 5 年、油谷河原農業研修所が建築後 14 年で比較的新しいものの、油谷生活改善センター、農村婦人の家、林業センターが 30 年近く経過しており老朽化が見られます。

◆主な建物一覧

No	建物名	併設施設	建設	構造地	地上	地下	施設延床	耐震化実施状況	
INO			年度		地工		面積(m))	耐震診断	耐震改修
1	市営公衆浴場「恩湯」		S26	СВ	2		307	未実施	未実施
2	市営公衆浴場「礼湯」		H14	W	1		179	未実施	未実施
3	湯免ふれあいセンター		Н6	SRC	1		2,034	未実施	未実施
4	日置農村活性化交流センター		H7	W	1		617	未実施	未実施
5	水産多目的集会所		H5	RC	1		298	未実施	未実施
6	林業センター		S62	W	2		494	耐震性有	未実施
7	農村婦人の家		S59	CB	1		225	未実施	未実施
8	里山ステーション俵山		H21	W	1		300	不要	不要
9	油谷生活改善センター		S58	S	2		240	未実施	未実施
10	油谷河原農業研修所		H12	S	1		380	不要	不要
	全体						5,073		

◆築年度別の整備状況



③管理運営及びコスト状況

温泉施設については、各施設の週 1 日の定休日を除き、運営時間は異なりますがほぼ毎日運営しています。施設の運営全般は基本的に市が直営で実施していますが、各施設での清掃等の維持管理については、シルバー人材センターや地域住民からなる管理組合に委託しているところもあります。

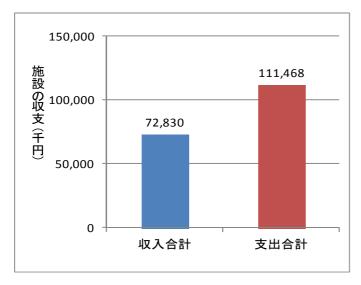
コスト状況については、施設全体の支出(平成 23 年~平成 25 年の 3 ヵ年平均)が約 1 億 1,200 万円に対し、収入は 7,300 万円となっており、いずれの施設も維持管理経費を賄うまでには至っていない状況です。

農産品加工販売や農村体験交流等を行う「里山ステーション俵山」では、地元のNP O法人を指定管理者としており、さまざまな事業が行われ地域活性化に貢献しています。また、「農村婦人の家」などの加工施設は、管理運営を農協に委託しており、施設の修繕以外に直接市の支出はなく、市の収入もありません。

集会施設では、水産多目的集会所のように指定管理者制度を導入している施設もありますが、それ以外は市が直営で運営しており、いずれも支出が収入を上回っています。

◆管理運営及びコストの状況

	施設名	収入(H23·	~H25年度平	均)(千円)	支出(H23~H25年度平均)(千円)			
No		使用料等	その他収入	収入合計	施設維持 管理費	事業運営費	支出合計	
		Α	В	C=A+B	D	E	F=D+E	
1	市営公衆浴場「恩湯」	12,914	560	13,473	18,784	6,350	25,134	
2	市営公衆浴場「礼湯」	6,040	195	6,235	6,937	2,852	9,789	
3	湯免ふれあいセンター	33,158	1,536	34,694	27,301	17,533	44,834	
4	日置農村活性化交流センター	17,072	0	17,072	18,336	8,248	26,584	
5	水産多目的集会所	9	240	249	0	712	712	
6	林業センター	571	383	954	1,363	33	1,396	
7	農村婦人の家	0	0	0	392	0	392	
8	里山ステーション俵山	0	0	0	0	2,000	2,000	
9	油谷生活改善センター	0	0	0	0	0	0	
10	油谷河原農業研修所	152	0	152	626	0	626	
	合計	69,916	2,913	72,830	73,739	37,729	111,468	



④利用状況

温泉施設全体の利用者数(平成 23 年 \sim 25 年の 3 カ年の平均)は、延べ数で年間約 26 万 3 千人となっています。

施設別に見ると、最も年間利用者数が多いのが湯本温泉の恩湯・礼湯が約11万4千人、 次いで湯免ふれあいセンターで約8万2千人、日置農村活性化交流センターが約5万6 千人となっており、過去3年間では若干減少傾向にあります。

今後は、多くの観光客や市民が訪れるような利用促進の取組みや施設の有効活用を図ることが課題となります。

また、産業関連施設の里山ステーション俵山では、地元NPO法人の活動や、そば打ち体験などを行う観光客等を含めて年間約3.800人の利用があります。

地域の農林漁業者の集会施設である水産多目的集会所及び油谷河原農業研修所は定期 的な利用者もあり過去 3 年間では横ばいの状況です。加工施設である農村婦人の家や油 谷生活改善センターにおいても、地元団体が毎年継続して活動しています。

◆各施設の利用状況

	施設名	併設施設	利用者数						
No			(人)						
			H23	H24	H25	3ヵ年平均			
1	市営公衆浴場「恩湯」		82,223	79,128	76,369	79,240			
2	市営公衆浴場「礼湯」		35,360	35,310	35,036	35,235			
3	湯免ふれあいセンター		83,350	81,120	81,351	81,940			
4	日置農村活性化交流センター		56,268	56,210	55,482	55,987			
5	水産多目的集会所		2,331	2,097	1,870	2,099			
6	林業センター		15	65	102	61			
7	農村婦人の家		191	207	167	188			
8	里山ステーション俵山		4,394	3,666	3,363	3,808			
9	油谷生活改善センター		438	380	376	398			
	油谷河原農業研修所		4,054	3,562	5,092	4,236			
	全体		268,624	261,745	259,208	263,192			

⑤まとめ

本市には、温泉施設や農産品加工販売施設等、主に合併前の旧1市3町で地域振興や 都市住民との交流など地域の活性化を担う施設として整備されたものが多くあります。

建物は、比較的新しい施設もありますが、湯本温泉の恩湯を始め、建築後30年以上経過した施設もあり、設備等を中心に今後修繕費の発生による管理運営コストの増加が懸念されています。

利用状況は、温泉施設全体で約26万人の利用がありますが、過去3年間では若干減少傾向にあります。加工施設や集会施設については横ばい状態が続いています。

管理運営については、指定管理者制度を導入している施設や、維持管理業務のみを委託している施設が多くなっています。また、いずれの施設も利用料収入で通常の維持管理経費を賄うまでには至っていない状況です。

温泉施設や体験交流施設のように利用料金収入が見込まれる施設は、施設のコスト削減を図るより、施設の魅力を向上させ、利用者の増加を図ることで、かかるコストをまかなう方向で改善を図ることが求められます。

産業系施設については、今後、人口減少や少子高齢化が進む中で、市域全体のバランスや地域特性、各施設の施策推進上の位置づけなどを考慮しながら、適正な配置や規模、 効率的な施設運営などについて検討していく必要があります。



